

年金の仲間 鎌倉ニユース

ホームページ 鎌倉・年金の仲間 & <http://nenkin-kamakura.sakura.ne.jp>

発行責任者
全日本年金者組合
鎌倉支部
鎌倉市台1438-3
飯田 洋
TEL/FAX
47-9720

執行委員のさざわり

(山内) 大企業のトヨタ自動車がこの5年間法人税を払っていないという。それなのに株主に一兆円を超える配当したうえに内部留保まで増やしている。一方、医療、介護、年金など改悪され、高齢者や弱者にとっても暮りにくい世の中になっていく。戦争する国に進むのではという不安もある。こんな情勢をこのまま見過ごしていいのだろうか。いくらおとなしい国民でも暴動がおこるのではと思う。昨今である。

(飯田) アベ流「三つの正義」…「めし・おどし・ごまかし」のうち2つは国民に対して、初めのめしは巨大メディアの幹部に切られている。誘いを断る勇気はないのだらう。対して福井地裁の堂々たる判決。支えたのは紛れもなく全国の原発運動。今こそ大切な心構えは樋口裁判長のよくな「勇気」に違いない。

消費税によらない最低保障年金制度を実現させよう
不公平なく移行できる2階建ての最低保障年金を
無年金・低年金者も最低年金を

自衛隊を辞める人がでる。自衛官の応募者も激減。ではどうする。「徴兵制」ができる。この道はいつか来た道。もう一つ、若者の就職難。就職できても非正規雇用、低賃金。ブラック企業、まともにメシが喰えない、昔「軍隊に行けばメシが喰える」と貧農から兵隊に志願する。

(高野) 年金が減っていく!!!
昨今のニュースで連日取り上げられている年金引き下げ。現役世代の負担軽減や将来の年金制度維持を盾にして私達の年金は下げ続けられる。「引き下げ反対!」の声も出しにくい空気を感じる。「備えろ! 高齢者も働き続ける!」と言つが今更(苦笑)。倏しい生活の何処が切り詰められるのか。低年金者や障害者も含む一律切り下げには断固反対していきたい。

(木内) 大飯原発3、4号機運転差し止め請求事件の判決がくだった。福島原発事故後初の再稼働NOの判決。これぞ憲法の国民主権の精神だと

サークル紹介



6・16 いきいき文化祭

2008年12月に始めて6年目になります。その間、本場郡上に2回行き、女性の会や各種イベントに参加。川崎や横浜の会館など大きな舞台でも踊りました。練習は毎月第1と第3の土曜日に「西公会堂」で行っています。最初に約30分間、4曲ほど踊ります。これが結構きついです。これが結構きついです。

郡上おどりを踊る会
です。休憩後、「猫の子」や言葉の掛け合いが楽しい「さわぎ」など何曲か踊り、美声の先生の歌で「まつさか」で整理体操を兼ねて終わります。

(吉原洋子)

共感した部分を紹介。「たとえ本件原発の運転停止によって多額の貿易赤字が出るとしても、これを国富の流出や喪失と言うべきではなく、豊かな国土とそこに国民が根を下して生活していることが国富であり、これを取り戻すことができなくなるのが国富の喪失である」と裁判所は考えている。「そのとおり!」

(小林) 戦後レジーム生まれ人
いつの間にか、戦後の日本が戦前の日本に回帰するような逆流現象がかなり露骨に進んでいるように見えますが、所詮は逆流であって本流ではない。某権力者が勇ましく事をすすめていますが、「おごれる人も久しからず、たけき者もついに滅びぬ」と、昔から語り継がれたように間違った権力の行使者は実はもろいのだ。

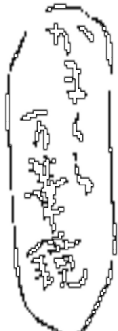
(井上) 大変便利な世の中、偶に遊びに来る孫たちはゲームに熱中して「これでいいのかな?」。風の音や川のせせらぎに耳を澄ませ、草花を愛でもっと自然に触れて欲しいなと思ったりします。自分の育った時代はとれたての旬の野菜や魚を食べ、それがとてもおいしかったと懐かしい。年中トマトや胡瓜を食べられることが真の幸せ?と考えたりしています。

「第3回 玉縄地域の戦跡巡りと戦争体験のお話」に参加しませんか = 戦争を二度と繰り返さないために =
8月5日(火) 9時 ・集合 玉縄龍宝寺門前
・戦跡巡り ~ 捕虜収容所跡地など (案内人 玉縄歴史の会 関根肇さん)
・戦争体験のお話 (お話する人 年金者組合員 仲築間みきさん) (会場 玉縄さわやかセンター)
・13時に終了

休憩時間は旅行の土産や手造りお菓子をいただくながら話かはずみです。最近の話題は、忘れ物や物忘れの失敗談、病気の話など。夏の時期には「炭坑節」「東京音頭」なども練習します。「ゆかた」に赤いタスキを掛けて「郡上おどり、いぐさの笠をかぶって」「佐渡おけさ」にも挑戦して6月16日「いきいき文化祭」で踊りました。皆さん、どうぞ郡上おどりを前に、踊りに来て下さい。

(卓)

いつだったか、しんぶん赤旗の「潮流」欄にアメリカの詩人、サミュエル・ウルマンの《青春の詩》の一部が紹介されていた。「年を重ねただけでは人は老いない。理想を失うときに、初めて老いがくる」と「潮流」はいう。「理想を情熱におきかえてもいいでしょう。ウルマンは、青春とは人生のある期間をいうのではなく、心の様相をいうのだと歌います。たとえ、肉体は衰えても、その胸中に燃え盛るものがあるかぎり、人は若さを失わない」とわれらの仲間、年の数の差こそあれ年を重ねたものはかりだが、「この国を、戦争する国にさせてはならない」という思いは共通している。病に臥せて口惜しい思いをしている人もいるが、「胸中に燃え盛るもの」は人一倍あるに違いない。病に臥せているとしても、老いてはいない。いや、老いるわけにはいかない。情熱を失うわけにはいかない。次世代に「平和な国」を渡すのはわれらなのだ。



お近づきになれた支部旅行 晴天絶好の旅行日和

5月14日、恒例のバス旅行は40名の参加で大船「西友」前からスタート。



記念の写真をハイ、パチリ

車中では担当の山内さんの何ともユニークで面白いクイズがあり、10時第一の目的地関東東三大師の一つ佐野厄除け大師に到着。大師と足尾鉍毒事件の義人田中正造の分骨した墓にお参りし、桐生織物センターで昼食。桑うどん付の釜めし御膳はポリウームたっぷりで美味しかった。さて、足尾銅山見学。銅山は江戸時代から明治、大正、昭和と採掘され昭和48年閉山

=たすきりレー=

岡本在住 夏野弘司さん

高齢者いじめをやめろ！

引続く年金引き下げ、消費税増税、医療介護などの社会保障制度改悪の流れ、私たち高齢者、年金受給者の生活はこの先一体どうなるのだろうか。私たちがおとなしく黙っていたら私たちの生活はお先真っ暗になる。ぜひみんなで「年金下げな、消費税増税やめろ、社会保障改悪するな」の声を大きくし、組合の仲間を増やして運動をさらに広げ、高齢者の反撃の力を示そう。そしてこの運動は子供や孫たち、現役の若い人たちの将来のために大事な闘いだという自覚をもって幅を広げた運動が重要だ。

俳句

夢をみる

内田 秀子

身の廻り不定形にて梅雨に入る
はぐれ鳩脚のみ赤く梅雨寒し
虹を見て河見てそして夢をみる

サークル7月のご案内

プラチナ卓球

日時 1・8・15・22・29日
19時～21時(毎火)
場所 大船中学校体育館

朗読の会

日時 8・22日(第2・4火)
13時～15時30分
場所 老人保健施設かまくら

日時 2・15日(1水・3火)
13時～15時
場所 山崎川ハピリセンター

麻雀サークル

日時 不定期、完全予約制
場所 DIKマンション1F
問合せ先 46-3919

カラオケサークル

日時 10日(第2木)13時～17時
場所 カラオケムーン大船店

郡上おどりを踊る会

日時 5・19日(第1・3土)
13時30分～15時30分
場所 手広西公会堂

囲碁の会(銀星会)

日時 9・23日(第2・4水)
13時30分～17時
場所 深沢行政センター



「佐渡おけさ」を踊る



朗読サークルの皆さん

鎌倉、逗葉、横須賀、三浦支部による ヴェルク横須賀でいきいき文化祭

合同の第6回「いきいき文化祭」が6月16日、ヴェルク横須賀大ホールで行われました。2年に

されるまで約400年もの間採掘された坑道の総延長は1234km東京から博多までの距離になるそうです。トロッコに乗り、歩いて坑道内の見学では当時の坑夫の苦勞に思いを馳せました。足尾鉍毒事件はよく知られて

くなくなった時には無一文だったとのこと。帰路のバス車中では自己紹介や仲楽間さんの小講演があり、楽しく学ぶことができ、新米の私にとつては組合員の皆様にお近づきになれたことが最大の収穫でした。楽しい一日でした。ありがとうございました。中島 みち子

毎週土・日曜の訴えの成果

4月に「存続させる会」が発足して以降、5月の連休をかわきりに、毎週土曜・日曜には、フラワースタワー前で宣伝と署名活動にとりくみ、各町内会・自治会、保育園や幼稚園、園内で活動している諸団体などへの協力を呼びかけ、19日現在、協力団体は50を超え、署名は2万2千筆を超え、カンパも20万円を超えました。6月1日には、元

が出演しました。鎌倉支部からは梅村さんと橋本さんがカラオケを披露、日野さんが国鉄時代のうたごえサークルの活動を3曲の歌と語りで紹介しました。午後からは郡上おどりサークルの9人が「かわさき」「げんげんばらばら」を踊り、朗読をばさんで菅笠をかぶり「佐渡おけさ」を踊りました。朗読サークルは詩、短い物語などを8人の組合員が朗読し、錦織さんの歌とお話の「お吉ものがたり」では会場から大きな拍手がお

年金受給日宣伝行動

6月13日、大船仲通りアップル前で恒例の受給日署名宣伝を行いました。事前に年金確定通知書が届いているせいか、署名を下さった方の多くは減額の事は知っていました。寄せられた声の多くは、減額された上に4月からの消費税増税、それに伴う物価の上昇で今後何を節約したらよいか。結局のところ、食物、飲み物しかないのかなー、と悲痛と悲鳴が伝わってきました。只、訴えた人の中には財源問題、国の借金問題と併せ、今は何を言っても変わらない等々の閉塞感もありました。今後もそれらを払拭するべく、署名を広げる必要も感じました。当日は、社会保険労務士の夏野さんを含め13人の参加で49筆の署名が集まりました。秋野 雅彦

編集後記

よこそ組合へ
宮坂 始さん(笹田)
鈴木則子さん(大町)

集団自衛、原発、年金引き下げ、暮らなどなど。役員さんの世相への「つぶやき」を特集。同じと共感。2ヵ月毎の年金宣伝行動の継続が重要と痛感。

我が家は三方を山に囲まれた谷戸の奥にある。その一方が開発され削られた。いかにも山の中で美声を誇っていた鶯が最近あまりにも近くで鳴いているのがある。削られた山から引越した余儀なくされたのか。です。署名へのご協力ありがとうございました。伍 淑子